飛驒市告示第159号

地方自治法第102条第2項の規定により、下記のとおり平成27年第7回
飛驒市議会定例会を招集する。

平成27年11月24日

飛驒市長 井上久則

記

- 1 日 時 平成27年12月1日（火） 午前10時00分
- 2 場 所 飛驒市役所 議事堂

平成27年第7回飛騨市議会定例会議事日程

平成27年12月1日 午前10時00分開議

日程番号	議案番号	事 件 名
第1		会議録署名議員の指名
第2		会期の決定
第3	報告第9号	損害賠償の額の決定について
第4	報告第10号	損害賠償の額の決定について
第5	承認第4号	専決処分の承認を求めることについて（平成27年度飛騨市一般会計補正予算（専決第1号））
第6	承認第5号	専決処分の承認を求めることについて（平成27年度飛騨市一般会計補正予算（専決第2号））
第7	議案第116号	飛騨市名誉市民の推挙について
第8	議案第117号	財産の取得について（新飛騨市神岡図書館備品）
第9	議案第118号	土木施設補助災害復旧事業市道杉原7号線災害復旧工事の請負契約の変更について
第10	議案第119号	都市再生整備計画事業宮川振興事務所・宮川町公民館複合施設建設（建築）工事の請負契約の変更について
第11	議案第120号	飛騨市ライフライン保全対策事業受益者分担金徴収条例について
第12	議案第121号	飛騨市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例について
第13	議案第122号	飛騨市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について
第14	議案第123号	飛騨市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例について
第15	議案第124号	飛騨市税条例の一部を改正する条例について
第16	議案第125号	商工業生産設備等に対する飛騨市税の特例に関する条例の一部を改正する条例について
第17	議案第126号	飛騨市介護保険条例の一部を改正する条例について
第18	議案第127号	指定管理者の指定について（飛騨市立さくら保育園）
第19	議案第128号	指定管理者の指定について（飛騨市障害者自立支援施設憩いの家）
第20	議案第129号	飛騨市公民館条例の一部を改正する条例について

日程番号	議案番号	事 件 名
第21	議案第130号	飛騨市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について
第22	議案第131号	飛騨市小口融資条例の一部を改正する条例について
第23	議案第132号	飛騨市過疎地域自立促進計画について
第24	議案第133号	飛騨市山村振興計画について
第25	議案第134号	指定管理者の指定について（地域交流センター船津座）
第26	議案第135号	指定管理者の指定について（光明苑、松ヶ丘公園斎場）
第27	議案第136号	飛騨市農業委員会に関する条例について
第28	議案第137号	財産の無償譲渡について（飛騨市地鶏育成施設）
第29	議案第138号	平成27年度飛騨市一般会計補正予算（補正第4号）
第30	議案第139号	平成27年度飛騨市国民健康保険特別会計補正予算（補正第3号）
第31	議案第140号	平成27年度飛騨市後期高齢者医療特別会計補正予算（補正第1号）
第32	議案第141号	平成27年度飛騨市国民健康保険病院事業会計補正予算（補正第3号）

本日の会議に付した事件

日程第1		会議録署名議員の指名
日程第2		会期の決定
日程第3	報告第9号	損害賠償の額の決定について
日程第4	報告第10号	損害賠償の額の決定について
日程第5	承認第4号	専決処分の承認を求めることについて(平成27年度飛騨市一般会計補正予算(専決第1号))
日程第6	承認第5号	専決処分の承認を求めることについて(平成27年度飛騨市一般会計補正予算(専決第2号))
日程第7	議案第116号	飛騨市名誉市民の推挙について
日程第8	議案第117号	財産の取得について(新飛騨市神岡図書館備品)
日程第9	議案第118号	土木施設補助災害復旧事業市道杉原7号線災害復旧工事の請負契約の変更について
日程第10	議案第119号	都市再生整備計画事業宮川振興事務所・宮川町公民館複合施設建設(建築)工事の請負契約の変更について
日程第11	議案第120号	飛騨市ライフライン保全対策事業受益者分担金徴収条例について
日程第12	議案第121号	飛騨市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例について
日程第13	議案第122号	飛騨市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について
日程第14	議案第123号	飛騨市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例について
日程第15	議案第124号	飛騨市税条例の一部を改正する条例について
日程第16	議案第125号	商工業生産設備等に対する飛騨市税の特例に関する条例の一部を改正する条例について
日程第17	議案第126号	飛騨市介護保険条例の一部を改正する条例について
日程第18	議案第127号	指定管理者の指定について(飛騨市立さくら保育園)
日程第19	議案第128号	指定管理者の指定について(飛騨市障害者自立支援施設憩いの家)
日程第20	議案第129号	飛騨市公民館条例の一部を改正する条例について
日程第21	議案第130号	飛騨市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について
日程第22	議案第131号	飛騨市小口融資条例の一部を改正する条例について
日程第23	議案第132号	飛騨市過疎地域自立促進計画について
日程第24	議案第133号	飛騨市山村振興計画について
日程第25	議案第134号	指定管理者の指定について(地域交流センター船津座)
日程第26	議案第135号	指定管理者の指定について(光明苑、松ヶ丘公園斎場)
日程第27	議案第136号	飛騨市農業委員会に関する条例について
日程第28	議案第137号	財産の無償譲渡について(飛騨市地鶏育成施設)
日程第29	議案第138号	平成27年度飛騨市一般会計補正予算(補正第4号)
日程第30	議案第139号	平成27年度飛騨市国民健康保険特別会計補正予算(補正第3号)
日程第31	議案第140号	平成27年度飛騨市後期高齢者医療特別会計補正予算(補正第1号)
日程第32	議案第141号	平成27年度飛騨市国民健康保険病院事業会計補正予算(補正第3号)

○出席議員(15名)

1番	前中	川嶋	文国	博則
2番	田洞	嶋中	清和	安彦
3番	野後	口中	勝和	憲正
4番	菅内	村藤	和	員彦
5番	森谷	後欠	明良	郎次
6番	天葛	野後	真	員子
7番	山池	欠菅	希	男徳
8番	籠	内森	充幸	文一
9番		谷天	寛博	子
10番		葛山	寛恵	
11番		池籠		
12番				
13番				
14番				
15番				
16番				
17番				

○説明のため出席した者の職氏名

市長	井白	上川	久修	則平
副市長	山本	川本	幸重	一昭
教育長	野小	村倉	孝久	文徳
会計管理者	野石	腰上		豊廣
総務部長	水藤	上井	雅義	昌子
財政課長	谷柏	澤木	敦雅	行則
教育委員会事務局長	青木	木向	孝	光秋
企画商工観光部長	沢之	川上	清	
環境水道部長	川			
市民福祉部長				
農林部長				
基盤整備部長				
消防長				
病院管理室長				

○職務のため出席した事務局員

議会事務局長	東	佐藤
書記	中垣	由香

(開会 午前10時00分)

◆開会

◎議長（葛谷寛徳）

本日の出席議員は全員であります。それではただ今から平成27年第7回飛騨市議会定例会を開会いたします。直ちに本日の会議を開きます。本日の議事日程は、お手元に配付のとおりであります。

◆日程第1 会議録署名議員の指名

◎議長（葛谷寛徳）

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。本日の会議録署名議員は、会議規則第81条の規定により12番、谷口充希子君、13番、天木幸男君を指名いたします。

◆日程第2 会期の決定

◎議長（葛谷寛徳）

日程第2、会期の決定を議題といたします。お諮りをいたします。本定例会の会期は、本日12月1日から12月16日まで16日間といたしたいと思っております。これにご異議ございませんか。

（「異議なし」との声あり。）

◎議長（葛谷寛徳）

ご異議なしと認めます。よって、本定例会の会期は、本日12月1日から12月16日までの16日間と決定いたしました。

◆諸般の報告

◎議長（葛谷寛徳）

この際、諸般の報告を行います。議長がこれまでに受理した請願・陳情等は、お手元に配付の請願・陳情等整理簿のとおりいただきであります。なお、原本は事務局において保管しておりますので、ご覧いただきますよう併せて報告いたします。

議長活動報告および監査委員からの例月現金出納検査報告等につきましては、それぞれお手元に配付のとおりであります。それをもって報告に代えさせていただきます。以上で、議長の報告を終わります。続きまして、市長から発言の申し出がありますので、これを許可いたします。

（「議長」と呼ぶ声あり。） ※以下、この「議長」と呼ぶ声の表記は省略する。

◎議長（葛谷寛徳）

市長、井上久則君。 ※以下、この議長の発言者指名の表記は省略する。

〔市長 井上久則 登壇〕

△市長（井上久則）

皆様おはようございます。本日、平成27年第7回飛騨市議会定例会が開催されました。12月16日までの16日間にわたり、数多くの案件につきましてご審議いただくわけですが、よろしくご審議をいただきまして適切なるご決定を賜りますようお願いを申し上げます。

お手元に諸般の報告を配付させて頂いておりますが、主な事柄につきまして報告させていただきます。

この秋はうれしい出来事が数多くありました。まずは、なんと申し上げても、梶田隆章教授のノーベル物理学賞受賞であります。10月6日、スウェーデン王立科学アカデミーは2015年ノーベル物理学賞を東京大学宇宙線研究所所長の梶田隆章教授とカナダのアーサー・マクドナルド・クイーン名誉教授に授与することを決定したと発表いたしました。

梶田教授の受賞は、皆さんご存知のとおり、1998年、太陽ニュートリノの観測によりニュートリノ振動とよばれる現象の存在を実証し、ニュートリノの質量の存在を証明されたことによるものです。

翌日の10月7日には、梶田教授に直接お会いする機会を得ましたので、東京大学を訪問し、市民の喜びをお伝えするとともに、お祝いを申し上げたところです。梶田教授からも市民の皆さんへの感謝のお言葉を頂いたところです。

今議会で上程させていただきますが、梶田教授を飛騨市名誉市民に推挙し、来年1月25日には記念式典を挙行し、市民こぞってお祝いしたいと考えております。

また、この喜びを市民の皆様と一緒に祝いしようと、11月21日からの3連休、市内の4つの入浴施設とまつり会館の無料開放を実施したところです。

また、11月6日には大型低温重力波望遠鏡KAGRA実験施設・第1期完成記念式典が開催されました。この重力波の観測により、今まで知ることの出来なかった過去の宇宙まで、究極的には宇宙生成の瞬間まで知ることができると期待されています。宇宙物理学の研究拠点である神岡では試験観測が始まるKAGRAや、新たな着工が期待されるハイパーカミオカンデなど大規模なプロジェクトが控えており、今後も発展を続けます。これを受けて、市では平成26年度に策定した飛騨市先端科学都市構想の具現化を目指していくこととなります。

次に、11月19日に開催されました、県営基幹農道整備事業神岡地区の全線開通式について報告いたします。

この事業は、平成4年度、当時、県営農林漁業用揮発油税財源身替農道整備事業として着手されて以来、24年に及ぶ年月と73億円の巨費を投じて頂き完成した大事業であります。

これはひとえに農林水産省や岐阜県をはじめ、関係機関及び関係者各位のご理解とご

高配の賜物であります。

特に、神岡縦貫農免道路建設促進協力会の山下清美会長をはじめ多くの役員の皆様の永年にわたる大変なご尽力の賜物であります。衷心より感謝し、厚くお礼申し上げます。

また、開通式は飛騨神岡高校・神岡中学校吹奏楽部の皆さん、旭保育園児をはじめ地元の多くの皆様のご協力により盛大に執り行うことができました。重ねてお礼を申し上げます。

この道路は「神岡カントリーロード」と名付けて頂いた愛称のごとく、神岡町の主要な田園地帯の農業振興を図るうえで重要な基幹道路であるとともに市民生活の利便性向上に大きく貢献するものと期待しております。

次に、飛騨首長連合の要望活動について報告いたします。

10月7日、国土交通省の森道路局長をはじめ、財務省の彦谷主計官、中田会計課長を訪ね、平成28年度当初予算における道路予算の確保、並びに中部縦貫自動車道の建設促進、国道41号線の雨量規制区間の早期解消、防災面の強化、登坂車線の早期整備を要望してまいりました。翌、10月8日には、中部地方整備局の茅野局長、小野寺道路部長を訪ね、同様の要望をいたしました。引き続き岐阜県庁に向い、高木県土整備部長他幹部職員の皆さんに一般国道471号、主要地方道古川清見線をはじめ、一般県道の事業促進要望ならびに宮川流域における河川改修事業の早期実施を要望してまいりました。

次に10月17日に発生したごみ焼却施設「飛騨市クリーンセンター」の出火についてですが、この火災につきましては、市民の皆様にご心配をおかけしておるところですが、飛騨警察署および消防本部等による現場検証において出火原因が特定できなかったため、消防庁消防大学消防研究センターの技術支援を受け、調査を実施したところ、施設の運転管理に問題はなく、放火の疑いもありませんでした。出火箇所は絞り込まれていますが、その原因については現在調査中です。

ごみは、富山市内の一般廃棄物処理業者と高山市営施設で焼却していただいています。

市民の皆様には、分別の徹底によるごみの減量化、資源化にご協力をお願いいたします。

最後になりますが、市内の児童生徒の活躍、学校関係について報告いたします。

前にも報告しましたが、11月2日に、宮川小学校が行っている「ふるさと学習」がユネスコ青少年グランプリ教育賞を受賞しました。この賞は、岐阜県ユネスコ協会が毎年、教育、科学、文化、国際、人権の分野で顕著な活動を行った小中高生を中心とする団体及び青少年を表彰するもので、日々の活動が評価されたものです。

また、「河合町地域振興協議会かわいっ子応援部会」が地元の河合小学校との連携により、「子どもたちに郷土愛とふるさとへの誇り」と「地域には絆と活力」を目標に活動されていることが高く評価され、「岐阜県地域子ども支援賞」を受賞されました。これからも継続した活動をお願いしたいと思います。

11月7日には、古川中学校3年、堀之上さや子さんが全国中学校人権作文コンテスト岐阜県大会において「外見上のコンプレックスを乗り越え夢を持って生きて行くすばらしさ」をテーマとした作品により最優秀賞を受賞されました。この大会は全国中学生を対象に毎年開催されており、県内での本年度応募作品数1万3,083点の中での栄誉でありまして、堀之上さんの作品は本年度の全国中学生人権作文コンテスト中央大会に推薦されます。以上、諸般の報告に代えさせていただきます。

〔市長 井上久則 着席〕

◆提案理由・総括説明

◎議長（葛谷寛徳）

それでは、ここで市長より今定例会における議案の提出理由、総括説明を求めます。

〔市長 井上久則 登壇〕

△市長（井上久則）

先ほど古川中学校3年、堀之上さや子さんが全国中学校人権作文コンテスト岐阜県大会の時に、11月7日と言ったそうですが11月17日の誤りですので、よろしく願いいたします。

それでは、今議会に提案いたしております案件についてご説明を申し上げます。

今回は、報告案件が2件、専決処分の承認案件が2件、飛騨市名誉市民の推挙案件が1件、財産の取得案件が1件、請負契約の変更案件が2件、条例改正などの案件が11件、計画承認案件が2件、指定管理者の指定案件が4件、財産の無償譲渡案件が1件、補正予算案件4件の合計30案件であります。

報告案件ですが、平成27年9月及び10月に発生しました物損事故に伴う損害賠償の額の決定についてです。内容は車両同士の物損事故及び、市の車両で相手方の家屋を損傷させた物損事故であります。いずれも示談は成立しております。

平成27年度飛騨市一般会計補正予算の専決処分の承認案件2件、飛騨市名誉市民の推挙案件1件、新飛騨市神岡図書館備品購入の財産の取得案件1件、市道杉原7号線災害復旧工事及び宮川町公民館複合施設建設工事の請負契約の変更案件2件につきましては即決議案としてお願いしたいと思います。

なお、各案件の詳細につきましては、後ほど説明をさせていただきますので、よろしく願いをいたします。

〔市長 井上久則 着席〕

◎議長（葛谷寛徳）

以上で、市長の説明を終わります。

◆日程第3 報告第9号 損害賠償の額の決定について

◎議長（葛谷寛徳）

日程第3、報告第9号、損害賠償の額の決定についてを議題といたします。説明を求めます。

〔市民福祉部長 谷澤敦子 登壇〕

□市民福祉部長（谷澤敦子）

皆様おはようございます。それでは報告させていただきます。報告第9号、損害賠償の額の決定について。損害賠償の額の決定について、地方自治法第180条第1項の規定により下記のとおり専決処分したので、同条第2項の規定によりこれを報告する。

1件目についてご報告いたします。発生日時・場所、平成27年9月25日、午後0時40分頃。飛騨市古川町若宮二丁目地内。事故の概要、健康生きがい課所属職員が、公用車で飛騨市古川町若宮二丁目地内の駐車場から出ようと右折したところ、周囲の確認を怠っていたため、左方向から直進してきた相手方車両と接触し、同車両の運転席側ドアを損傷させたものです。相手方、飛騨市古川町内の方。事故の種類、物損。相手方損害額、市の過失割合、13万9,158円、過失割合は80%。損害賠償金、11万1,326円。内訳としましては全額、保険金でございます。専決年月日、平成27年11月10日、専決第10号。引き続き裏面をお願いいたします。

2件目としまして、発生日時・場所、平成27年10月7日、午後2時30分頃。飛騨市古川町杉崎地内。事故の概要、健康生きがい課所属職員が、訪問先で乗車していた公用車（軽トラック）を駐車させようと道路脇に寄せたところ、周囲の確認を怠っていたため、同車両の荷台幌用パイプが、訪問先家屋に接触し、同家屋の雨樋及び屋根の一部を損傷させたものです。相手方、飛騨市古川町内の方。事故の種類、物損。相手方損害額、3万7,800円、市の過失割合は100%。損害賠償金、3万7,800円。内訳は全額、保険金でございます。専決年月日、平成27年11月11日、専決第11号。

本当にこのような事故を起してしまい心よりお詫び申し上げます。今後、より一層交通安全に取り組みますので、何とぞよろしくお願いいたします。

〔市民福祉部長 谷澤敦子 着席〕

◎議長（葛谷寛徳）

報告が終わりましたので、これより質疑を行います。質疑はありますか。

（「なし」との声あり。）

◎議長（葛谷寛徳）

なしと認めます。これで質疑を終結し、報告第9号を終わります。

◆日程第4 報告第10号 損害賠償の額の決定について

◎議長（葛谷寛徳）

日程第4、報告第10号、損害賠償の額の決定についてを議題といたします。説明を求めます。

〔企画商工観光部長 水上雅廣 登壇〕

□企画商工観光部長（水上雅廣）

おはようございます。報告第10号、損害賠償の額の決定について、地方自治法第180条第1項の規定により下記のとおり専決処分したので、同条第2項の規定によりこれを報告する。

発生日時・場所、平成27年9月18日、午後0時30分頃。兵庫県淡路市内岩屋、淡路サービスエリア（下り線）地内。事故の概要、宮川振興事務所産業振興係所属職員が、業務のため出張先へ向かう途中、兵庫県淡路サービスエリア下り線の駐車場において、方向変換しようとして公用車を後退させた際、後方確認が不十分であったため、駐車中の軽自動車に接触し、同車両の前方バンパーを損傷させた。相手方、静岡県熱海市の方。事故の種類、物損。相手方損害額、12万3,991円、市の過失割合は100%。損害賠償金、12万3,991円。保険金、全額でございます。専決年月日、平成27年11月10日、専決第9号。

こうしたことにつきましては申し訳なく思っております。以後、私も含めこうしたことがないように留意させていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

〔企画商工観光部長 水上雅廣 着席〕

◎議長（葛谷寛徳）

報告が終わりましたので、これより質疑を行います。質疑はありますか。

○15番（山下博文）

この淡路島というところですが、かなりここから遠い所ですね。飛驒市の規定を聞くんですが、例えば何キロ以上は鉄道を利用するかバスを利用するか、ここは公用車を使えとかそういうような規定というものはあるんですか。

◎議長（葛谷寛徳）

答弁を求めます。

□総務部長（小倉孝文）

お答えいたします。出張に対しましては、極力公用車を使うということになっております。しかし、ない場合には列車等を使うということで基本的には公用車ということになりますので、よろしくお願いいたします。

◎議長（葛谷寛徳）

ほかに質疑はありますか。

○17番（籠山恵美子）

私も山下議員とだいたい同じようなことを聞こうと思っていたんですけども、今回この場合には同乗者はおられたんですか。全く一人での業務出張ですか。

◎議長（葛谷寛徳）

答弁を求めます。

□企画商工観光部長（水上雅廣）

同乗者もおりました。2名でございます。

◎議長（葛谷寛徳）

ほかに質疑はありませんか。

○17番（籠山恵美子）

今、鉄道はとても運賃が高いのでなるべく公用車を使うということは、効率的に経費を安くということになるのかとそんな予想をします。ただ、私たちも兵庫県に視察に行ったことがあります。少なくとも6時間くらいかかります。そういう長時間の運行というのを職員の福利厚生を考えた時に果たして的確なのかどうかという感じがします。極力、公用車でと言いますと、今はどのくらいの距離までの出張に行かれるんですか。

◎議長（葛谷寛徳）

答弁を求めます。

△市長（井上久則）

出張につきましては、その部署その部署で出張命令簿で上司の決裁をとって出張するわけです。その時の出張の内容によって違います。現地でたくさんの移動をしなければならぬような出張もありますし、駅から駅で終わるような出張もあるわけですが、その都度その都度、出張命令簿で決裁をとったうえで出張させておるのが現実でございます。どこまで行くかということにつきましては、規定はございませんが近年では九州まで自家用車で行った例があります。そういったことでその都度その都度、上司の判断も当然必要になってくるわけですが、できるだけ職員の事故等に気を付けるような出張の仕方ということにつきましては考えていかなければならないと思っておりますので、よろしく願いいたします。

◎議長（葛谷寛徳）

ほかに質疑はありませんか。

（「なし」との声あり。）

◎議長（葛谷寛徳）

なしと認めます。これで質疑を終結し、報告第10号を終わります。

◆日程第5 承認第4号 専決処分の承認を求めることについて（平成27年度飛騨市一般会計補正予算（専決第1号））

◎議長（葛谷寛徳）

日程第5、承認第4号、専決処分の承認を求めることについて（平成27年度飛騨市一般会計補正予算（専決第1号））を議題といたします。説明を求めます。

〔総務部長 小倉孝文 登壇〕

□総務部長（小倉孝文）

おはようございます。承認第4号について説明をいたします。

地方自治法第179条第1項の規定により、平成27年10月6日別紙のとおり専決処分したので、同条第3項の規定によりこれを報告し承認を求める。次ページをお願いいたします。

専決第7号、専決処分書。平成27年度飛騨市一般会計補正予算、専決第1号について、地方自治法第179条第1項の規定により、別紙のとおり専決処分する。次ページをお願いいたします。

平成27年度飛騨市一般会計補正予算、専決第1号は、次に定めるところによる。歳入歳出予算の補正。第1条、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ700万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ187億644万3,000円とする。第2項につきましては省略させていただきます。

今回の利用でございますけれども、平成27年10月6日に梶田隆章教授のノーベル物理学賞受賞決定は、飛騨市を世界最先端の宇宙物理学研究拠点として名声を高められた功績と広く飛騨市民に敬愛を持って受けられており市民一同、お祝いとその栄誉を称えるため記念行事などを実施するために行った補正予算であります。

4ページをお願いいたします。歳入ですが、1節、地方交付税につきましては、普通交付税の増額補正を行うものです。5ページをお願いします。歳出ですが、上段の8節報償費につきましては、今回のノーベル物理学賞受賞に対する記念品代の補正予算を行うものであります。11節、需用費につきましては、懸垂幕及び横断幕の設置、商店街などに設置する記念フラッグの製作費などの増額補正を行うものです。12節、役務費につきましては、新聞社への広告料及び記念フラッグ設置手間などの増額補正を行うものでございます。14節、使用料及び賃借料につきましては11月21日から23日までの3日間でしたが、温泉関係などの指定管理施設無料開放に伴う使用料の増額補正を行ったものでございます。

以上で説明を終わらせていただきます。よろしくをお願いいたします。

〔総務部長 小倉孝文 着席〕

◎議長（葛谷寛徳）

説明が終わりましたので、これより質疑を行います。質疑はありますか。

○17番（籠山恵美子）

分りにくいので教えていただきたいんですが、今専決の第1号、次に第2号がでできますけど、同じように交付税、しかも内容は普通交付税で手当てしてありますね。これは、専決日の一緒なんですけど、こういうふうに分けるといことは、一緒にできなかったそれなりの理由があるわけですか。

◎議長（葛谷寛徳）

答弁を求めます。

□総務部長（小倉孝文）

専決第1号につきましては、梶田教授のノーベル物理学賞受賞に伴いまして、すぐに

事業を実施しなければならないということで専決第1号としております。専決第2号につきましてはその後、クリーンセンターの火災等の処理のためということで日にちが異なっておりますので、予算の執行上分けたものでございます。

◎議長（葛谷寛徳）

他に質疑はありませんか。

○1番（前川文博）

5ページの方で14節の施設使用料がありますが、11月21日から23日の3日間、施設を開放したということですが、その期間の利用者数が実際どのくらいだったのか金額の方も分れば教えてください。

◎議長（葛谷寛徳）

答弁を求めます。

□企画商工観光部長（水上雅廣）

お答えをいたします。個別に申し上げます。すば一ふるは、1,912名。ゆうわ〜くはうすが427名。おんり〜湯で727名。Mプラザで1,335名。まつり会館で953名。3日間のトータルで5,354名の方にご利用いただきました。

◎議長（葛谷寛徳）

他に質疑はありませんか。

（「なし」との声あり。）

◎議長（葛谷寛徳）

質疑がないようですので、質疑を終結いたします。お諮りをいたします。ただ今、議題となっております承認第4号につきましては、委員会付託を省略いたしたいと思えます。これにご異議ございませんか。

（「異議なし」との声あり。）

◎議長（葛谷寛徳）

ご異議なしと認めます。よって、承認第4号については、委員会付託を省略することに決定いたしました。これより自由討議を行います。自由討議はありませんか。

（「なし」との声あり。）

◎議長（葛谷寛徳）

なしと認めます。これで自由討議を終結し、これより討論を行います。討論はありませんか。

（「なし」との声あり。）

◎議長（葛谷寛徳）

討論なしと認め討論を終結し、これより採決をいたします。本案は、原案のとおり承認することにご異議ございませんか。

（「異議なし」との声あり。）

◎議長（葛谷寛徳）

ご異議なしと認めます。よって、承認第4号は原案のとおり承認されました。

◆日程第6 承認第5号 専決処分の承認を求めることについて（平成27年度飛騨市一般会計補正予算（専決第2号））

◎議長（葛谷寛徳）

日程第6、承認第5号、専決処分の承認を求めることについて（平成27年度飛騨市一般会計補正予算（専決第2号））についてを議題といたします。説明を求めます。

〔環境水道部長 藤井義昌 登壇〕

□環境水道部長（藤井義昌）

おはようございます。それでは、承認第5号について説明をいたします。

地方自治法第179条第1項の規定により、平成27年10月19日別紙のとおり専決処分したので、同条第3項の規定によりこれを報告し承認を求めます。次ページをお願いいたします。

専決第8号、専決処分書。平成27年度飛騨市一般会計補正予算、専決第2号について、地方自治法第179条第1項の規定により、別紙のとおり専決処分する。次ページをお願いいたします。

平成27年度飛騨市一般会計補正予算、専決第2号は、次に定めるところによる。歳入歳出予算の補正。第1条、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ2億8,200万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ189億8,844万3,000円とする。第2項については省略させていただきます。

4ページをお願いします。先の10月17日に発生しました飛騨市クリーンセンター火災事故に対応しますその復旧と日常のごみ処理に支障をきたさないようにとった補正予算であります。歳入ですが、第1節、地方交付税におきまして、普通交付税の増額補正を行なったものです。5ページをお願いします。歳出ですが、衛生費におきまして、節の委託料では一般廃棄物の処理委託料を計上しました。全員協議会でお知らせしておりますとおり、富山市の一般廃棄物処理業者と高山市に委託しているところでございます。

また、復旧工事費としまして概算でございますが、2億5,000万円を計上しております。その他、クリーンセンターへ直接搬入されるごみのパッカー車の借上料とその燃料費、仮設照明等の修繕等を計上しました。

以上で説明を終わらせていただきます。よろしく申し上げます。

〔環境水道部長 藤井義昌 着席〕

◎議長（葛谷寛徳）

説明が終わりましたので、これより質疑を行います。質疑はありますか。

（「なし」との声あり。）

◎議長（葛谷寛徳）

質疑がないようですので、質疑を終結いたします。お諮りいたします。ただ今、議題となっております承認第5号につきましては、委員会付託を省略いたしたいと思っております。これにご異議ございませんか。

（「異議なし」との声あり。）

◎議長（葛谷寛徳）

ご異議なしと認めます。よって、承認第5号については、委員会付託を省略することに決定いたしました。これより自由討議を行います。自由討議はありませんか。

（「なし」との声あり。）

◎議長（葛谷寛徳）

なしと認めます。これで自由討議を終結し、これより討論を行います。討論はありませんか。

（「なし」との声あり。）

◎議長（葛谷寛徳）

討論なしと認め討論を終結し、これより採決をいたします。本案は、原案のとおり承認することにご異議ございませんか。

（「異議なし」との声あり。）

◎議長（葛谷寛徳）

ご異議なしと認めます。よって、承認第5号は原案のとおり承認されました。

◆日程第7 議案第116号 飛騨市名誉市民の推挙について

◎議長（葛谷寛徳）

日程第7、議案第116号、飛騨市名誉市民の推挙についてを議題といたします。本案について説明を求めます。

〔市長 井上久則 登壇〕

△市長（井上久則）

それでは、議案第116号の飛騨市名誉市民の推挙についてご説明を申し上げます。

下記の者を飛騨市名誉市民として顕彰したいから、飛騨市名誉市民条例第3条の規定により、議会の同意を求める。氏名、梶田隆章。生年月日、昭和34年3月9日（56歳）。住所、埼玉県越谷市越谷5丁目4番58号。提案理由、神岡鉦山内に設置された観測装置スーパーカミオカンデにより、ニュートリノの質量の存在を証明したことで「ノーベル物理学賞」を受賞され、世界最先端の宇宙物理学研究拠点として市の名声を著しく高めた功績をたたえるものでございます。略歴につきましては、裏面のとおりであります。なお、飛騨市の名誉市民につきましては、合併時旧町村から引き継がれました小柴昌俊氏、故小林幸雄氏、故戸塚洋二氏に次いで、4人目。存命の方では、小柴先生に次いで2人目。飛騨市発足後は、はじめての名誉市民となるものです。よろしくお願

いたします。

〔市長 井上久則 着席〕

◎議長（葛谷寛徳）

説明が終わりましたので、質疑を行います。質疑はありませんか。

（「なし」との声あり。）

◎議長（葛谷寛徳）

質疑がないようですので、質疑を終結いたします。お諮りいたします。ただ今、議題となっております議案第116号につきましては、委員会付託を省略いたしたいと思っております。これにご異議ございませんか。

（「異議なし」との声あり。）

◎議長（葛谷寛徳）

ご異議なしと認めます。よって、議案第116号については、委員会付託を省略することに決定いたしました。これより自由討議を行います。自由討議はありませんか。

（「なし」との声あり。）

◎議長（葛谷寛徳）

自由討議なしと認め、自由討議を終結いたします。これより討論を行います。討論はありませんか。

（「なし」との声あり。）

◎議長（葛谷寛徳）

討論なしと認め討論を終結し、これより採決をいたします。本案は、原案のとおり決することにご異議ございませんか。

（「異議なし」との声あり。）

◎議長（葛谷寛徳）

ご異議なしと認めます。よって、議案第116号は原案のとおり可決されました。

◆日程第8 議案第117号 財産の取得について（新飛騨市神岡図書館備品）

◎議長（葛谷寛徳）

日程第8、議案第117号、財産の取得について（新飛騨市神岡図書館備品）を議題といたします。本案について説明を求めます。

〔教育委員会事務局長 石腰豊 登壇〕

□教育委員会事務局長（石腰豊）

おはようございます。それでは説明をさせていただきます。議案第117号、次のとおり財産を取得する。1、財産の種類及び数量、新飛騨市神岡図書館備品1式。2、取得の目的、図書館備品の購入。3、取得金額、3,909万1,356円、4、取得先、「家具の三建」こと飛騨市神岡町船津918番地1、土井圭一郎でございます。裏面を

お願い致します。裏面につきまして、取得の備品の関係を計上させていただいております。備品につきましては、中置郷土資料架。書架でございますが、本棚関係が22基の購入。同じく、各種の閲覧テーブル・イス・ソファ類の購入でございます。現在の飛騨市図書館をイメージしていただきますとお分かり頂けるかと思いますが、一例で申し上げますと、直立複式5連4段という表示でございますが、これは通常の本棚。これが複式といいますのは、前後に本が閲覧できるようになっております。それが、5連ということで1連あたり90cmですので、4m50cm。4段。これにつきましてはベースが30cmありまして、そこから4段の30cm刻みとなっております。したがって、直立複式5連4段と申しますのが、長さが4m50cmのもので5段の戸棚があるというようなイメージを持っていただきまして、1m50cmの高さというようなものでございます。

内容でございますが、一般図書成人用のものがございまして、そちらが7台。そして、若干背の低い子ども児童生徒対象のもので、児童用又、幼児用ということで4台。それぞれ購入をする予定でございます。

入札につきましては、平成27年11月9日に入札を行いまして、同日の仮契約。工期につきましては、平成28年3月22日ということでございます。落札率につきましては、94.75%です。3月に入りまして予定通り備品の設置を行いまして3月22日の完成ということで準備を進めております。以上で説明を終わります。

〔教育委員会事務局長 石腰豊 着席〕

◎議長（葛谷寛徳）

説明が終わりましたので、質疑を行います。質疑はありませんか。

○15番（山下博文）

現在の神岡町図書館に、荒垣秀雄先生のコーナーと申しますか、記念館があるわけですか。今度、新飛騨市神岡町図書館が振興事務所へ移りますが、荒垣先生のコーナーはどのように扱われるのか考えがあったら聞かせてください。

◎議長（葛谷寛徳）

答弁を求めます。

□教育委員会事務局長（石腰豊）

今ほどのご質問でございますが、スーパーカミオカンデ等も含めまして郷土の資料集、鉾山関係の資料もたくさんございますので、それらを含めまして資料コーナーを設置する予定をしておりますので、その中ということで検討をしております。

◎議長（葛谷寛徳）

ほかに質疑はありませんか。

○17番（籠山恵美子）

今朝、ここに載っている議案で即決ということなので、できれば目に見える資料が先にいただけたらありがたかったと思うのでお聞きしますが、4,000万円とかなり高額な備品になると思います。形状と申しますか、例えば「木にこだわって選びました」

とか、そういうのがあれば。当然、教育委員会の方皆さんで見られて検討されたんでしようから、そのあたりの決め手になった内容をちょっと説明していただきたいと思います。

◎議長（葛谷寛徳）

答弁を求めます。

□教育委員会事務局長（石腰豊）

お答えをいたします。まず、基本的なものですが、ぬくもりのあるということで「木」というものは、ベースで考えております。その中で、書架。本棚につきましては、6段のものになりますと高さが1 m 8 0 cm等になりますので、そういうものについては、スチール製のもののイメージを持っていただきたいと思います。低くめの高さのものについては極力、木にこだわったということです。またこの後、備品類以外の机・テーブル等の関係もございしますが、そちらについても極力、木にこだわるということで考えております。

◎議長（葛谷寛徳）

他に質疑はありませんか。

（「なし」との声あり。）

◎議長（葛谷寛徳）

質疑がないようですので質疑を終結いたします。お諮りいたします。ただ今、議題となっております議案第117号につきましては、委員会付託を省略いたしたいと思えます。これにご異議ございませんか。

（「異議なし」との声あり。）

◎議長（葛谷寛徳）

ご異議なしと認めます。よって、議案第117号については、委員会付託を省略することに決定いたしました。これより自由討議を行います。自由討議はありませんか。

（「なし」との声あり。）

◎議長（葛谷寛徳）

自由討議なしと認め、自由討議を終結いたします。これより討論を行います。討論はありませんか。

（「なし」との声あり。）

◎議長（葛谷寛徳）

討論なしと認め討論を終結し、これより採決をいたします。本案は、原案のとおり決することにご異議ございませんか。

（「異議なし」との声あり。）

◎議長（葛谷寛徳）

ご異議なしと認めます。よって、議案第117号は原案のとおり可決されました。

◆日程第9 議案第118号 土木施設補助災害復旧事業市道杉原7号線災害復旧工事の請負契約の変更について

◎議長（葛谷寛徳）

日程第9、議案第118号、土木施設補助災害復旧事業市道杉原7号線災害復旧工事の請負契約の変更について議題といたします。本案について説明を求めます。

〔基盤整備部長 青木孝則 登壇〕

□基盤整備部長（青木孝則）

おはようございます。それでは、議案第118号についてご説明いたします。議案第118号、平成27年1月28日議案第1号にて議決の土木施設補助災害復旧事業市道杉原7号線災害復旧工事を次のとおり変更する。契約金額、変更前2億1,384万円。変更後、2億1,989万8,800円です。変更の内容でございますが、平成27年の3月に被災の法面内で新たな崩壊が発生しました。構造計算を行いまして、その結果当初、流用土で計上しておりましたが、軽量盛土材に変更しなければいけないということになったものの増額。また、直上流側で岐阜県施行の災害普及工事がございまして、仮設道路を併用して使っております。そちらの関係で工程調整によりまして撤去については岐阜県の方でやっていただけるということになりましたので、その減額によるものがございます。以上、605万8,800円の増額になります。以上で説明を終わります。よろしくお願いたします。

〔基盤整備部長 青木孝則 着席〕

◎議長（葛谷寛徳）

説明が終わりましたので、質疑を行います。質疑はありますか。

（「なし」との声あり。）

◎議長（葛谷寛徳）

質疑がないようですので、質疑を終結いたします。お諮りいたします。ただ今、議題となっております議案第118号につきましては、委員会付託を省略したいと思います。これにご異議ございませんか。

（「異議なし」との声あり。）

◎議長（葛谷寛徳）

ご異議なしと認めます。よって、議案第118号については、委員会付託を省略することに決定いたしました。これより自由討議を行います。自由討議はありますか。

（「なし」との声あり。）

◎議長（葛谷寛徳）

自由討議なしと認め、自由討議を終結いたします。これより討論を行います。討論はありますか。

（「なし」との声あり。）

◎議長（葛谷寛徳）

討論なしと認め討論を終結し、これより採決をいたします。本案は、原案のとおり決することにご異議ございませんか。

（「異議なし」との声あり。）

◎議長（葛谷寛徳）

ご異議なしと認めます。よって、議案第118号は原案のとおり可決されました。

◆日程第10 議案第119号 都市再生整備計画事業宮川振興事務所・宮川町公民館複合施設建設（建築）工事の請負契約の変更について

◎議長（葛谷寛徳）

日程第10、議案第119号、都市再生整備計画事業宮川振興事務所・宮川町公民館複合施設建設（建築）工事の請負契約の変更についてを議題といたします。本案について説明を求めます。

〔基盤整備部長 青木孝則 登壇〕

□基盤整備部長（青木孝則）

それでは、議案第119号についてご説明いたします。議案第119号、平成27年3月18日、議案第43号にて議決の都市再生整備計画事業宮川振興事務所・宮川町公民館複合施設建設（建築）工事を次のとおり変更する。契約金額、変更前1億8,468万円。変更後、1億9,054万0,080円です。変更の内容ですが、1階屋上部分と接する天井内及び2階の屋上部分に接する天井内につきまして、結露の対策が不十分であったということで、発泡ウレタンの吹付の増高を変更させていただきたいと思えます。それから駐輪場の方の乗り入れの関係が勾配が急なことがありましたので、安全性の向上のため、スロープを設置するという増高でございます。金額については586万0,080円の増額を行うものです。以上で説明を終わります。よろしく願いいたします。

〔基盤整備部長 青木孝則 着席〕

◎議長（葛谷寛徳）

説明が終わりましたので、質疑を行います。質疑はありますか。

○10番（森下真次）

今、変更の契約の説明をいただきました。これで大きく遅れることはないと思いますが、側を通りますと建物も見えてきました。そして夜遅くまで仕事をされているのを見ておりますけれども、これの使用につきましてはいつからを予定されておるのでしょうか。

◎議長（葛谷寛徳）

答弁を求めます。

□基盤整備部長（青木孝則）

お答えします。工期につきましては、12月22日変更無でやっております。竣工式について、今の予定ですが12月26日、土曜日に竣工式ができないかということで計画しております。最初の利用につきましては、年明けの成人式での利用を計画しておると伺っております。

◎議長（葛谷寛徳）

他に質疑はありませんか。以上で質疑を終結します。お諮りいたします。ただ今、議題となっております議案第119号につきましては、委員会付託を省略したいと思っております。これにご異議ございませんか。

（「異議なし」との声あり。）

◎議長（葛谷寛徳）

ご異議なしと認めます。よって、議案第119号については、委員会付託を省略することに決定いたしました。これより自由討議を行います。自由討議はありませんか。

（「なし」との声あり。）

◎議長（葛谷寛徳）

自由討議なしと認め、自由討議を終結いたします。これより討論を行います。討論はありませんか。

（「なし」との声あり。）

◎議長（葛谷寛徳）

討論なしと認め討論を終結し、これより採決をいたします。本案は、原案のとおり決することに異議ございませんか。

（「異議なし」との声あり。）

◎議長（葛谷寛徳）

ご異議なしと認めます。よって、議案第119号は原案のとおり可決されました。

◆日程第11 議案第120号 飛騨市ライフライン保全対策事業受益者分担金徴収条例
について
から

日程第32 議案第141号 平成27年度飛騨市国民健康保険病院事業会計補正予算
（補正第3号）について

◎議長（葛谷寛徳）

日程第11、議案第120号、飛騨市ライフライン保全対策事業受益者分担金徴収条例についてから、日程第32、議案第141号、平成27年度飛騨市国民健康保険病院事業会計補正予算（補正第3号）までの合わせて22案件につきましては、会議規則第35条の規定により一括して議題といたします。本案について説明を求めます。

〔市長 井上久則 登壇〕

△市長（井上久則）

それでは私の方からは、議案第138号から議案第141号にて提案をしております補正予算の審議をお願いするにあたりましてご説明を申し上げたいと思います。

今回の補正予算は、「人口減少を克服し飛躍する飛騨市」を目指し、それを具現化するための必要な施策について、当初予算を補完し充実を図る事業にかかる経費を計上したほか、主な事業として、本年10月に発生した飛騨市クリーンセンター火災に伴う市外へのゴミ処理委託料、東京大学宇宙線研究所所長梶田隆章教授のノーベル物理学賞受賞記念事業や「ふるさと納税」の推進に必要な経費等を計上しております。

一般会計の歳入について、説明いたします。

国庫支出金では、民生費関係で、障がい福祉サービス費等にかかる国庫負担金623万1,000円を計上しました。

県支出金では、総務費関係において、事業費の確定に伴い地籍調査事業補助金1,680万円を減額し、農林水産業費関係で、機構集積協力金交付事業費補助金1,527万9,000円を増額しました。

寄附金では、ふるさと応援寄附金（ふるさと納税）において、本年11月から始めた「お返し品公募制度」の導入により予想を大幅に上回る寄附申し出が見込まれることから、1億2,600万円を追加。また、繰入金では、福祉事業基金繰入金900万円を計上しております。

市債は、県との協議や事業進捗を踏まえ、各事業に充当を予定していたものについて7,510万円を減額するとともに、臨時財政対策債は、普通交付税の算定結果により8,591万5,000円を増額しました。

不足する財源については、普通交付税1億0,151万8,000円で調整しております。

次に、一般会計の歳出について説明いたします。

総務費では、ふるさと応援寄附金の申し込み件数の増加に伴う、市特産品の贈呈に対応するため、4,608万9,000円を追加し、寄附金歳入と同額の1億2,600万円を「ふるさと創生事業基金」に積み立て、次年度の事業財源として有効活用を図ります。

また、梶田教授のノーベル物理学賞受賞を祝し、名誉市民顕彰式典等を開催するための経費に190万円、本年11月に発足した統合後の第3セクター「株式会社飛騨ゆい」の新事業を支援するための補助金696万1,000円を計上し、地籍調査事業は事業費確定に伴い2,246万7,000円を減額しました。

民生費では、障がい者自立支援給付費をサービス利用者等の増加に伴い1,246万3,000円を追加、地域生活支援事業として、飛騨地鶏牧場の授産事業を地域活動支援センターとして新たに委託するほか、日中一時支援事業等の利用者増加に対応するため879万6,000円を増額、なお、当該地域活動支援センターに至るアクセス対策

に必要な経費 900 万円を計上しました。

衛生費では、飛騨市クリーンセンター火災復旧事業として、専決処分した復旧工事費等に加え、市外事業者へのゴミ処理委託等に必要な経費 1 億 0,424 万 3,000 円を計上しております。

農林水産業費では、農地集積を推進するため、農地中間管理事業により農地の貸付け等を行うものに対する協力金 1,527 万 9,000 円を増額、県営土地改良事業負担金の事業費確定に伴い 3,436 万 8,000 円を減額しました。

商工費では、起業化促進事業補助金について、市内での新規起業者の増加を見込み 200 万円を追加。「山・鉾（ほこ）・屋台行事」のユネスコ文化遺産登録に向けて、デザインコンペ方式によるポスター製作に必要な経費 50 万円を増額しました。なお、当事業は、平成 28 年度への債務負担行為限度額 300 万円を計上しております。

土木費では、県管理道路改良事業の増加見込みに伴う県道改良事業負担金を 1,400 万円増額する一方で、社会資本整備総合交付金事業は、事業費確定に伴い 4,000 万円を減額しました。また、今年度をもって終了する克雪住宅等整備事業費補助金について、予想を上回る申請件数になっていることから 504 万 3,000 円を追加計上しております。

この結果、一般会計補正額は、2 億 4,733 万 2,000 円の増額となり、歳入歳出の総額は、192 億 3,577 万 5,000 円となっております。

また、特別会計は合計で、3,897 万 6,000 円の増額、企業会計は、332 万円の増額となります。

なお、条例、その他の案件につきましては、総務部長より説明をさせますので、よろしく願いいたします。

〔市長 井上久則 着席〕

◎議長（葛谷寛徳）

続いて説明を求めます。

〔総務部長 小倉孝文 登壇〕

□総務部長（小倉孝文）

それでは今回提案させていただきます条例などの概要につきまして説明をいたします。

議案第 120 号、飛騨市ライフライン保全対策事業受益者分担金徴収条例につきましては、事業実施に伴う受益者分担金を徴収するために制定するものでございます。

議案第 121 号、飛騨市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例につきましては、行政手続きによる、特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法令の施行に伴い制定するものでございます。

議案第 122 号、飛騨市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例につきましては、地方公務員法の一部改正に伴いまして改正を行うものでございます。

議案第123号、飛騨市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例につきましては、被用者年金制度の一元化などを図るため厚生年金保険法などの一部を改正する法律の施行に伴いまして改正を行うものでございます。

議案第124号、飛騨市税条例の一部を改正する条例につきましては、地方税法の改正に伴い改正を行うものでございます。

議案第125号、商工業生産設備等に対する飛騨市税の特例に関する条例の一部を改正する条例につきましては、過疎地域自立促進特別措置法の改正に伴い改正を行うものでございます。

議案第126号、飛騨市介護保険条例の一部を改正する条例につきましては、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に伴い改正を行うものでございます。

議案第127号及び第128号の2案件でございますけれども、指定管理者の指定につきましては、市民福祉部所管施設で指定管理者および指定管理期間を指定するものでございます。

議案第129号、飛騨市公民館条例の一部を改正する条例につきましては、宮川町公民館の供用開始に伴い改正を行うものでございます。

議案第130号、飛騨市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例につきましては、非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の改正に伴い改正を行うものでございます。

議案第131号、飛騨市小口融資条例の一部を改正する条例につきましては、中小企業信用保険法の改正に伴い改正を行うものでございます。

議案第132号、飛騨市過疎地域自立促進計画につきましては、過疎地域自立促進特別措置法の改正に伴い、新たな飛騨市過疎地域自立促進計画書の承認を得るものでございます。

議案第133号、飛騨市山村振興計画につきましては、山村振興法の改正に伴い新たな飛騨市山村振興計画書の承認を得るものでございます。

議案第134号、指定管理者の指定につきましては、企画商工観光部所管施設で、指定管理者および指定期間を指定するものでございます。

議案第135号、指定管理の指定につきましては、環境水道部所管の施設で、指定管理者および指定管理期間を指定するものでございます。

議案第136号、飛騨市農業委員会に関する条例につきましては、農業委員会等に関する法律の改正に伴い制定をするものでございます。

議案第137号、財産の無償譲渡につきましては、社会福祉法人「めひの野園」へ、飛騨市地鶏育成施設を無償譲渡するものでございます。以上で説明を終わらせていただきます。よろしくお願いたします。

〔総務部長 小倉孝文 着席〕

◎議長（葛谷寛徳）

以上で、補正予算、条例関連等の説明が終わりました。ただ今、提案説明のありました議案第120号から議案第141号までの22案件につきましては、12月8日、12月9日、12月10日の3日間、質疑を予定しております。質疑のある方は、発言通告書によりお願いいたします。

なお、質疑・一般質問の発言通告書は、12月3日木曜日、午前10時が締め切りであります。

ここでお諮りいたします。議案精読のため、12月2日から12月7日までの6日間は休会といたしたいと思っております。これにご異議ございませんか。

（「異議なし」との声あり。）

◎議長（葛谷寛徳）

ご異議なしと認めます。よって、12月2日から12月7日までの6日間は、議案精読のため休会とすることに決しました。

◆散会

◎議長（葛谷寛徳）

以上をもちまして、本日の議事日程は全て終了いたしました。会議を閉じ、散会いたします。

（ 散会 午前11時07分 ）

地方自治法第123条第2項の規定により、ここに署名する。

飛騨市議会議長

葛谷 寛徳

飛騨市議会議員（12番）

谷口 充希子

飛騨市議会議員（13番）

天木 幸男